



私たちは、生徒の「夢・挑戦・自立」を応援します



令和7年2月14日発行
校長 浅香 英典 No10

主体性の向上

校長 浅香英典

1月8日（水）の冬休み明けの集会で「主体性」について話しました。主体性とは「自分自身の意志や考えに基づいて行動する姿勢や能力」です。学校が提供するさまざまな学びの場において自分で決められることは自分で決め、決めたことを「全力で行う」という強い意思をもって行い、大きな成果を出してほしいと伝えました。

1、2年生は校外学習において主体性を伸ばしました。1年生は上野周辺の班行動、2年生は台場、葛西などの臨海エリアや上野、東京、お茶の水など広範囲を移動する班行動を行いました。行動中に主体的な姿をたくさん見せてくれました。見学中に班員がばらばらにならないように声をかけていました。食事をする予定の場所が混んでいた場合に、班員で相談、判断して別の場所に変更しました。体調を崩しかけた仲間に温かい声かけ、休養をとらせていました。生徒たちの立派な活動の様子をみることができました。高い関心を示して班別行動の計画を立てたこと、「自分たちでやり遂げる」と強い意思をもったこと、仲間と相談して適切な行動を判断したことなどが主体性の向上につながりました。また、主体性だけでなく集団生活やリーダーシップ、人間関係、コミュニケーション、協調性などにおいても成長を感じました。

今回の校外学習で身に付けた力を今後の学校生活や3月に行われる三年生を送る会でも発揮してくれることを期待しています。

学習においても主体性を向上させたいと考えております。2月21日（金）から行われる学年末考査では、「平均点5%アップ」を掲げました。前回の考査平均点より5%上げるための努力を重ねるよう伝えました。学校でも授業や放課後補充教室を活用し、理解を深められるよう学習を進めるとともに、主体的に学習を行うよう促します。ご家庭におかれましてもお子様が学年末考査という目標に向かって主体的に取り組む姿を応援していただけますと幸いです。

3年生は都立一般選考に向けて大切な時期になりました。

2月10日（月）の朝礼ではプロ野球 DeNA 球団オーナー南場智子氏の新聞記事を取り上げました。南場氏は、成長する選手は「思いの強さ」があり、「切れ目のない努力」をすると語っていました。3年生も進路への強い思いをもち、努力を重ねてください。やれることを全部やりきり、体調を万全にして2月21日の都立第一次・分割前期選考に臨んでほしいと話しました。準備の積み重ねが実るよう、体調管理に気を配りながら、3年生の挑戦を教職員一同応援し続けていきます。